

平野中だより

令和5年4月10日

＜学校教育目標＞ ともに学び 挑み 夢を語る生徒

【合言葉】～ かがやきサイクルでレッツチャレンジ！～

蓮田市立平野中学校 TEL048-766-9003

ホームページ http://hiranojhs.o.oo7.jp

Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com

心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



「目標に向かって挑戦し続ける」
～ともに 学び 挑み 夢を語る生徒～

校長 吉里 達哉

春を喜ぶ気持ちが高まり、正門や校庭の桜はあっという間に葉桜となりました。新入生31名を迎え、全校生徒83名で令和5年度がスタートしました。

今を生きる目の前の生徒を大事にし、平野らしさを強みとし、生徒が学びたくなる、教職員が勤めたくなる愛され信頼される学校づくりを目指して参ります。

学校教育目標は、「ともに 学び 挑み 夢を語る生徒」、合言葉は「かがやきサイクルでレッツチャレンジ!」です。生徒、教師、家庭・地域「ともに」学び、様々な物事に挑戦し続け、主役である生徒が夢を語れるようになってほしいという願いが込められています。どうぞ、1年間よろしく願いいたします。

令和5年度 第77回入学式 校長式辞の中より

平野中学校で一番大切なものは何だと思えますか。それはみなさん一人一人です。みなさん一人一人こそが宝物です。

それでは、みなさんにとって一番大切なものは何でしょうか。それは「自分の命」です。みなさんの一人一人の命こそ、たった一つしかない、そして他の何物にもかえがたい、世界中で一番大切なものです。そのたった一つの命を、みなさんの「心の内側」から光り輝かせてほしいと思えます。

みなさんは、ロウソクに炎がともっているのを見たことがあると思えます。一本のロウソクは、自分が燃えることによって、周囲に光を放ち、かがやきを増しています。

また、その光は、自分の周りを暖かくしてくれます。このロウソクのように、自分自身を、自分の命を光り輝かせるためには、いきいきと活動していくことが大切です。

では、どのようにすればいいのでしょうか。その方法は二つあると思えます。まず、「中学生になったらこんなことをしたい」「こんな人間になりたい」という夢や希望、そして自分自身の目標を持つことです。

小さくてもよいし、大きくてもよいのですが、「自分の心から願う目標を持つ」ことが大切です。漠然と日々を送っていたのでは、人間はかがやきを失い、つまらない毎日を送ることになってしまいます。目標のある人は、一日一日を大切にします。夢のある人は常に前進します。まずは、自分なりの夢や希望を見つけてみましょう。

もう一つ大切なことは、ねばり強く努力することです。発明の王と言われたエジソンは、人から天才と呼ばれたのですが、自分自身は、「発明は1パーセントのひらめきと99パーセントの努力によって生まれる」と言っています。「継続は力なり」という言葉がありますが、やり続けることによって光は輝くのです。もちろん、うまくいかないことの方が多いかも知れませんが、苦しくてもがんばっている人は、光り輝いて見えます。困難に挑戦する人、真剣に取り組んでいる人も光り輝いて見えます。人間の命は、ねばり強くがんばり続ける時、輝きを増すということを心に留めてほしいと思えます。

学校教育目標「ともに 学び 挑み 夢を語る生徒」これは、自分の目標に向かって挑戦し続けることです。みなさんの中には、たくさんのおよさや可能性があります。そのよさや可能性は、挑戦することによって実を結ぶものです。平野中学校には、みなさんのよさや可能性を花ひらかせる場や機会がたくさんあります。前向きにいろいろなことに挑戦し、自らを伸ばしてください。もちろん、先生方もそのために最大限の努力をします。

◇平野中学校の特色 「かがやきサイクル」

本校の特色でもある「かがやきサイクル」。「準備 → 本番 → 振り返り → 改善」をすべての教育活動において取り組むことで、生徒の可能性を開花させ、生徒の力を伸ばすルーティーンでもあります。学校教育目標の達成に欠かすことのできない実践でもあります。

＜学校教育目標＞ 「ともに 学び 挑み 夢を語る生徒」

＜合言葉＞ ～ かがやきサイクルでレッツチャレンジ! ～

＜めざす学校像＞ 「夢を語り 笑顔・活力・思いやりのある学校」

○目標や夢に挑戦し続ける学校 ○思いやりと活力のある学校 ○ともに学び合い 高め合う学校

＜めざす生徒像＞

○自ら学び 考える生徒 ○心やさしく たくましい生徒 ○心身を鍛える生徒

＜学校経営の基本理念＞

○学校は 生徒・教師ともに楽しく 学び合い、高め合う場である

○学校は 未来を創る 子どものためにある

○学校は地域立であり 信頼から成り立つところである



○小中一貫教育の継続、そしてコミュニティスクールへ

平成25年度よりスタートした平野小学校との小中一貫教育の取組を今年度も継続します。そして昨年度よりコミュニティスクールとなり、学校運営の改善及び児童・生徒の健全育成に向けて協働する学校へと、より一層地域とともにある学校づくりを進めていきます。

＜コミュニティスクール＞

学校運営協議会(学校と地域をつなぐ本部的な組織)を設置されている学校。

(組織) 会長：齋藤 庸夫 様 副会長：大場 宏悦 様 木村 久 様
委員：小林 多賀枝 様 渋谷 悟 様 関根 隆之 様 寺澤 亜希子 様

♪ 今月の歌

春の小川

春の小川は

さらさら行くよ

岸のすみれや

すがたやさしく

咲けよ咲けよと

ささやきながら

春の小川は

さらさら行くよ

えびやめだかや小鮎のむれに

今日も一日 ひなたでおよぎ

遊べ遊べと

ささやきながら

作曲 岡野 貞一

作詞 高野 辰之

【曲について】

○大正元年十二月の「尋常小学唱歌」第四学年用に掲載された。高野辰之が当時住んでいた東京府豊多摩郡代々幡村(現在の渋谷区代々木)周辺を流れる河骨川の情景を歌ったものとされ、現在小田急線の代々木八幡駅付近の線路沿いには、『春の小川』の歌碑が建てられている

*今月号はA3版面印刷ですが、次号からA4版面印刷となります。